

令和6年度 FD・SD 研修会 報告書

ユマニテク短期大学



2025.3 発行

前期FD研修会

◆日程:令和6年7月16日(火)17:00~18:30

◆参加者:ユマニテク短期大学教職員

◆開催方法:対面

◆研修内容

「学生の現状をふまえた本学の課題への取り組み」

IR推進室からデータの説明(樋口教務委員)

マンダラチャートを用いた目標設定(徳増教務副委員長)

グループワーク

◆リフレクションシートより

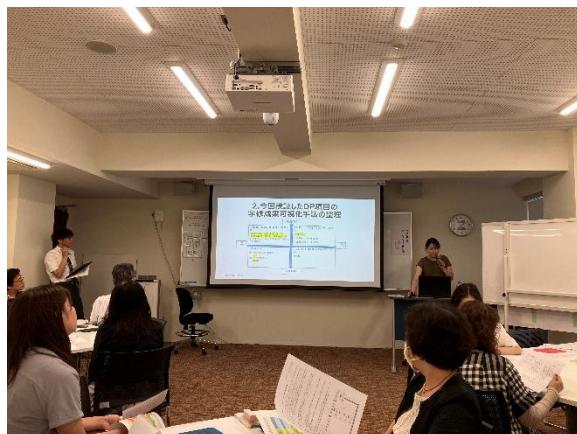


・文科省の言う高等教育の在り方を現場の大学に照らし合わせて、検証していくことは重要な意味があると思います。しかし、それらと教室での学生のみなさんとの間にある大きなギャップを埋めていくことも、また現場の責任でもあります。学生のみなさんが、自らの将来に希望を持ち、今の学びを大切にするように、授業をつくっていかなければならぬと感じました。

・主体的な学修を目指して、やはりコミュニケーションや協同学習、興味関心を引き出し、理解し、発表等、授業に今後も折り込んでいきたいと思いました。今回の研修を通して学修成果の定期的な点検と評価、分析することの意義、そして課題を議論すること重要性を理解することができました。

・どのグループも協同という言葉が共通として挙がっていました。保育者養成校ということもあり、子どもと関わる人を育てる上で、教職員同士も心を合わせ、力を合わせ、助け合っていくということを大切にしていると感じました。その姿を学生に見せてことで、人と協同できる保育者や社会人に育ってくれるのではないかと感じました。

(一部抜粋)



後期SD研修会

◆日程:令和7年2月18日(火)13:30~15:00

◆参加者:ユマニテク短期大学教職員

◆開催方法:対面

◆研修内容

講師:ユマニテク短期大学 德増全矢 氏

内容:「本学の危機管理マニュアルをもとにしたハザードマップ研修」



現在検討中の危機管理マニュアルの前提と趣旨を理解し、被害を想定しながらハザードマップを用いたグループワークを行うことで、教職員の危機管理意識を向上することを目的とする。

◆リフレクションシートより

- ・防災地理情報を確認することの重要性を初めて理解し、非常に有意義な研修でした。
- ・市から配布されるのは見たことがありますが、「重ねるハザードマップ」を始めて検索しました。自分の勤務する地域のことを調べることで地域の地形の特性、身の回りでどのような災害がおこりうるのか、知ることができました。また、防災グッズや学生をどこに避難させるのか、共通理解ができました。
- ・理解しているつもりでは駄目で、改めて再認識することができよい機会になりました。
- ・いざというときに全員が危機管理マニュアルに基づいて迅速・的確に行動をできるよう、次年度の防災委員会で考えていくたいと思います。

(一部抜粋)

